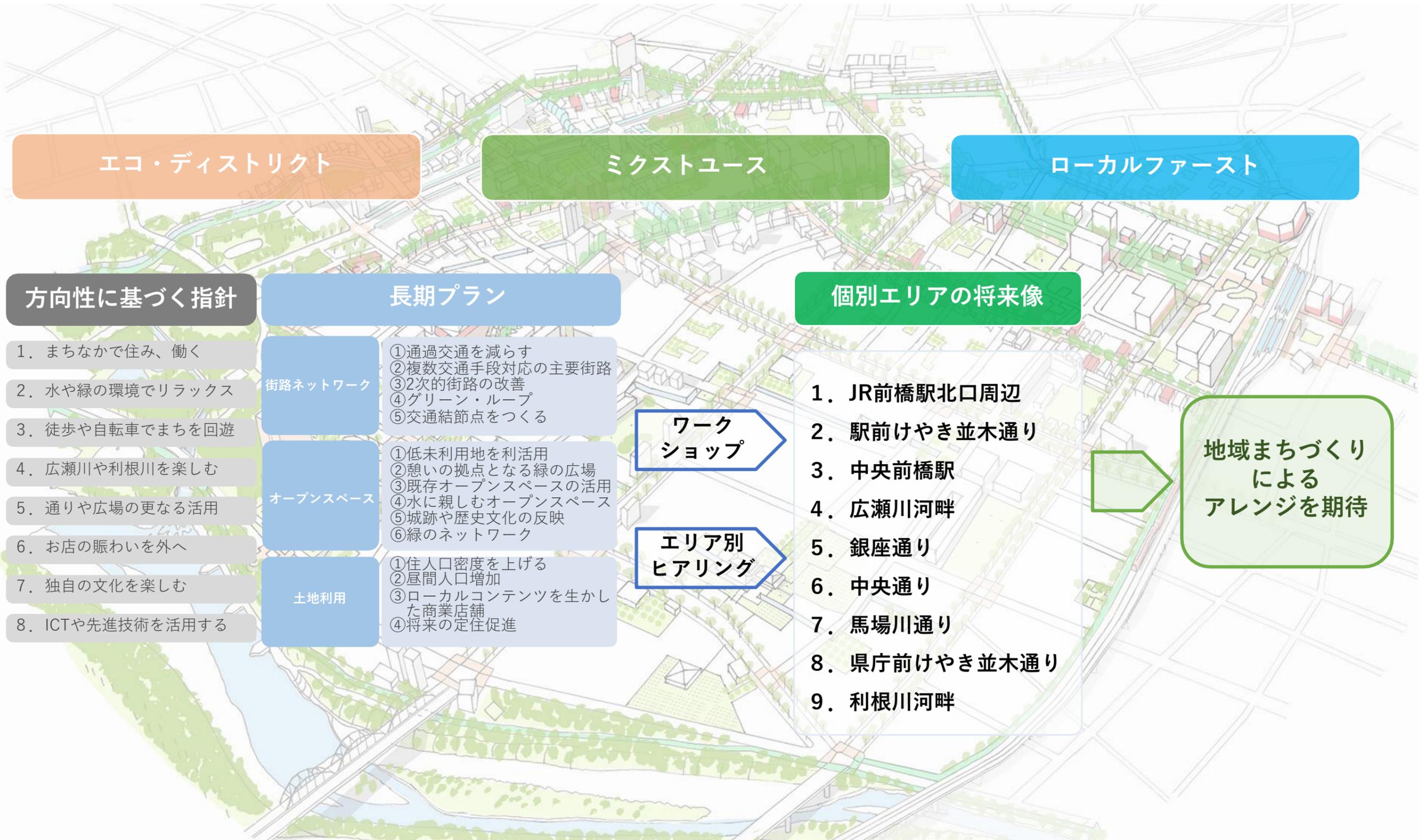


6. まちの将来像

まちの将来像について

前橋市アーバンデザインで示す将来像については、ワークショップの参加者及び関係者から聞き取りした個別エリアのイメージやアイデアを示す一つの形として作成しました。そして、この将来像をモデルとして民間主体による地域まちづくりを進める議論を深め、長期的な取り組みの中でアレンジされて柔軟に実行されていくことを期待します。



エコ・ディストリクト

ミクストユース

ローカルファースト

方向性に基づく指針

1. まちなかで住み、働く
2. 水や緑の環境でリラックス
3. 徒歩や自転車でまちを回遊
4. 広瀬川や利根川を楽しむ
5. 通りや広場の更なる活用
6. お店の賑わいを外へ
7. 独自の文化を楽しむ
8. ICTや先進技術を活用する

長期プラン

街路ネットワーク

- ① 通過交通を減らす
- ② 複数交通手段対応の主要街路
- ③ 2次的街路の改善
- ④ グリーン・ループ
- ⑤ 交通結節点をつくる

オープンスペース

- ① 低未利用地を利活用
- ② 憩いの拠点となる緑の広場
- ③ 既存オープンスペースの活用
- ④ 水に親しむオープンスペース
- ⑤ 城跡や歴史文化の反映
- ⑥ 緑のネットワーク

土地利用

- ① 住人口密度を上げる
- ② 昼間人口増加
- ③ ローカルコンテンツを生かした商業店舗
- ④ 将来の定住促進

ワーク
ショップ

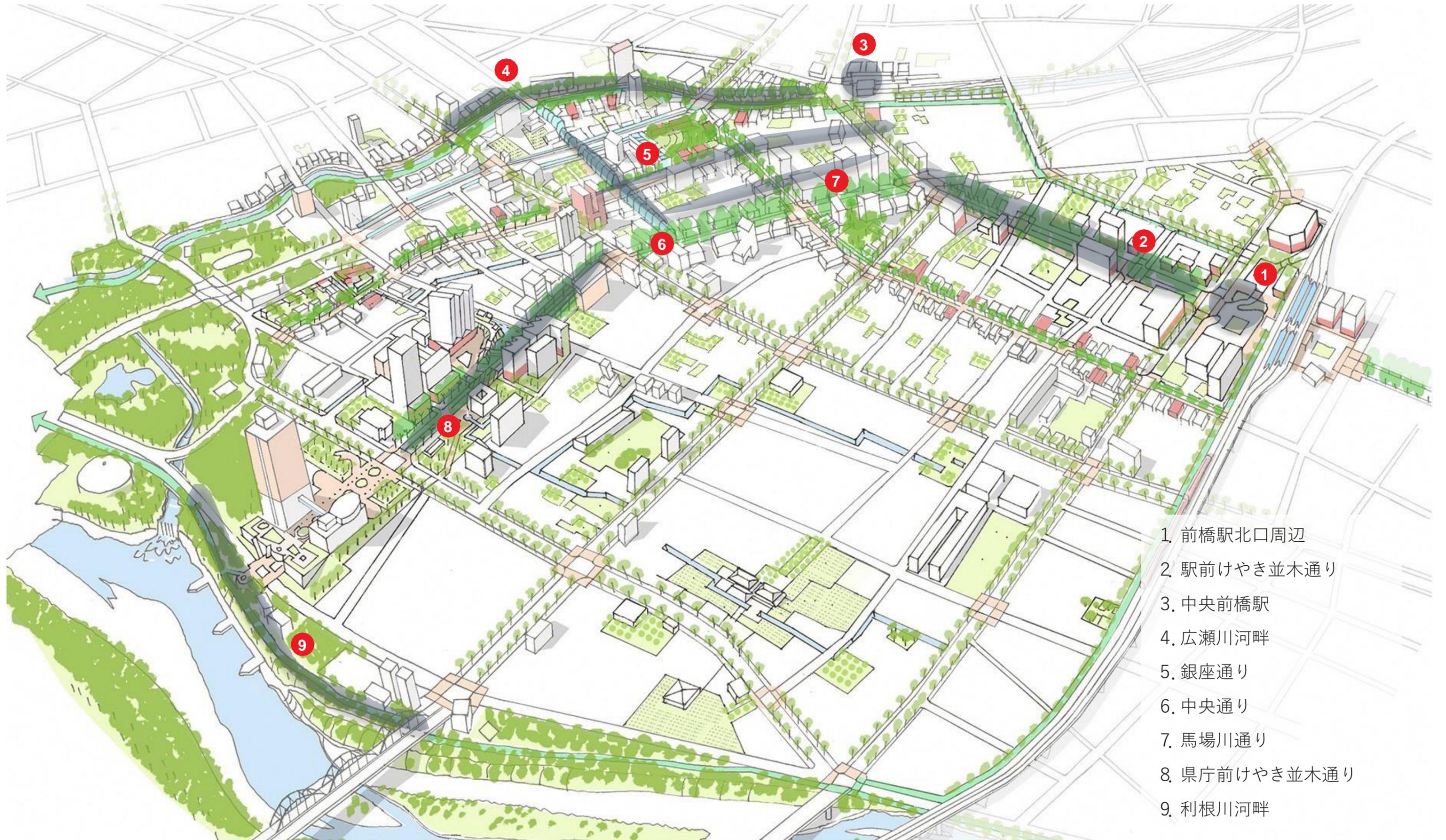
エリア別
ヒアリング

個別エリアの将来像

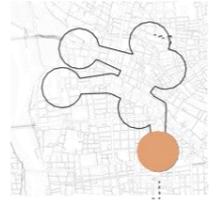
1. JR前橋駅北口周辺
2. 駅前けやき並木通り
3. 中央前橋駅
4. 広瀬川河畔
5. 銀座通り
6. 中央通り
7. 馬場川通り
8. 県庁前けやき並木通り
9. 利根川河畔

地域まちづくり
による
アレンジを期待

個別エリアの将来像



1.前橋駅北口周辺



1.1 将来像：イメージ・パース



将来像イメージ・パース1

1. 前橋駅北口周辺



1.1 将来像：イメージ・パース

前橋駅北口は、来街者の玄関口として様々なインフォメーション機能と公共交通が集約され、駅前広場ではキッチンカーの出店やマルシェの開催などにより様々な活動がけやき並木にかけて連続してつながる。

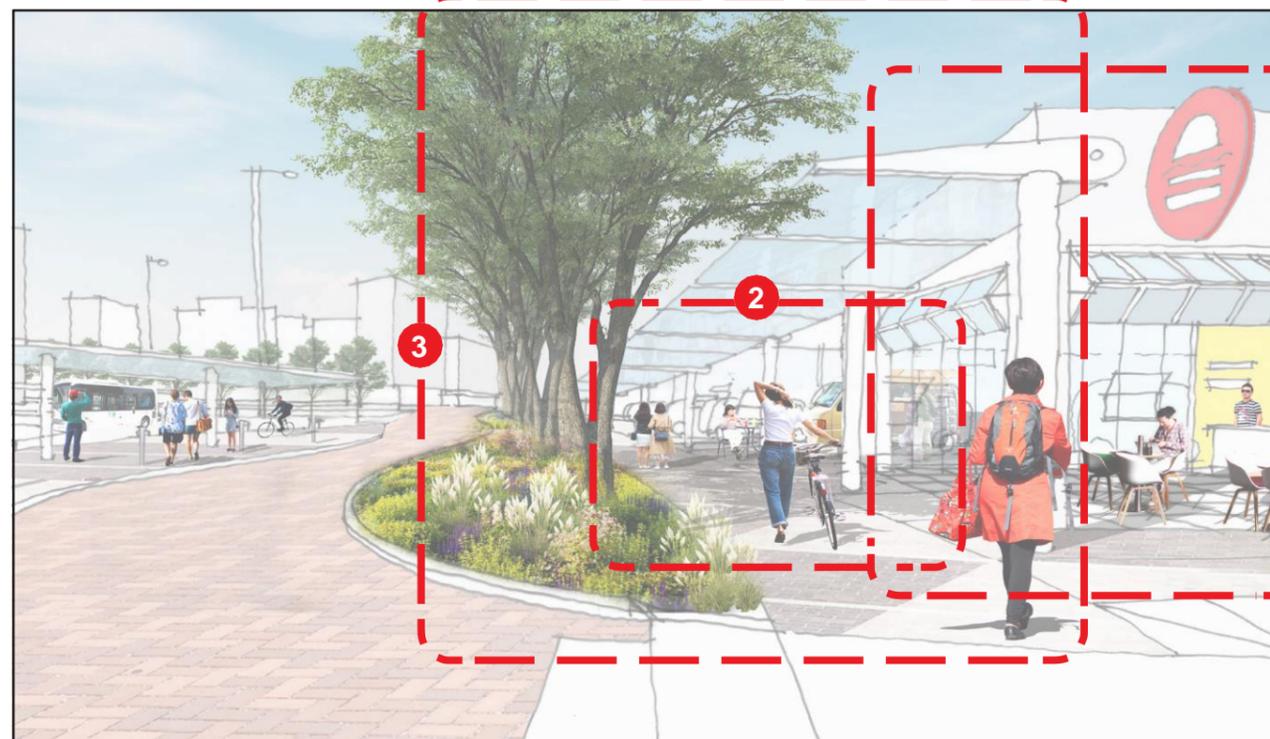
電車やバスを待つ時間調整のためのカフェや、駅前建物内のシェアスペースや広場でワークショップの開催、まちの名所を巡るガイドツアーを開催するなど、駅利用者の利便性向上、体験の機会の創出を図る。



現在の北口の様子

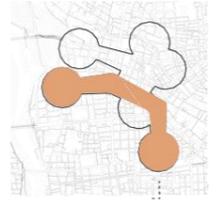
凡例

- 1 駅前広場にはデリなどの小売店が開業し、大きな開口部から賑わいが漏れ出る。
- 2 駅前広場にはキッチンカーなどが出店し、お茶やお酒を楽しめる。
- 3 雨水を利用した植栽でエコロジーを推進。その植栽とキャノピーが、けやき並木通りへ人々を導くとともに、日射しや雨を避ける機能を果たす。



将来像
イメージ・パース

2. 駅前けやき並木通り



2.1 将来像:イメージ・パース



将来像イメージ・パース2

2. 駅前けやき並木通り



2.1 将来像:イメージ・パース

駅前けやき並木通りは、前橋駅と繁華街をつなぐ本市のシンボルとなるメインストリートである。県都としてふさわしい価値を備えた高質な景観を維持し、ビジネスマンや観光客が通りの賑わいを楽しみながら歩ける店舗や路上空間を創出する。

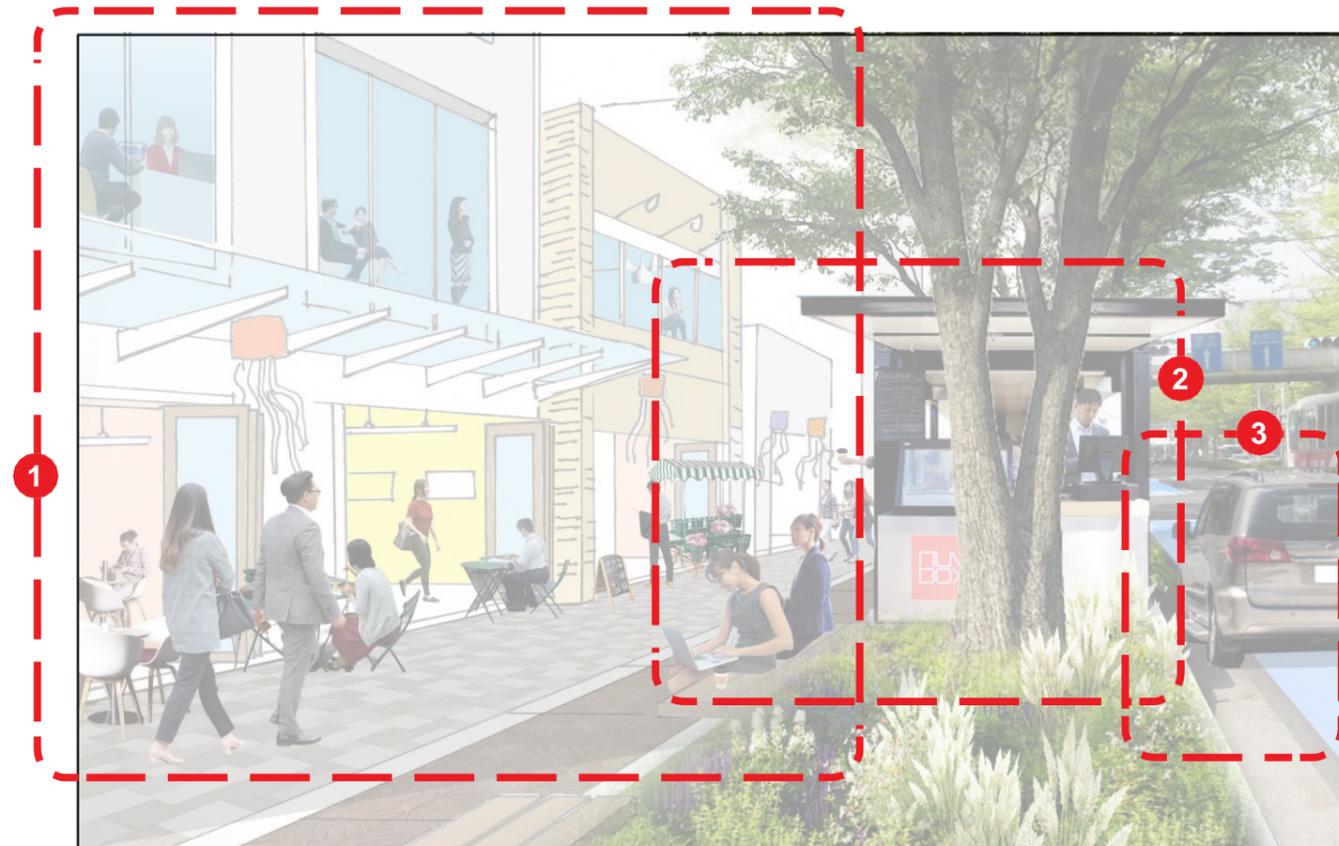
周辺のオフィスやホテル利用者の利便性向上のため、通り沿いのテナント1階にはレストランやカフェが入居し、他に書店やフラワーショップなどの多様な店舗が滞留や視覚的体験の向上を引き出し通りの魅力を向上させる。



現在の通りの様子

凡例

- 1 街路に開かれた地上階店舗、上階にはけやき並木の景観を取り入れたシェアオフィスが入居し、通りからも人の気配が感じられる。
- 2 歩道上でコンテナ店舗が営業し、前橋駅からまちなかまでの賑わいを連続させる。
- 3 時間帯により路上駐車が可能となるフレックスレーンの導入。



将来像
イメージ・パース

3. 中央前橋駅



3.1 将来像：イメージ・パース



将来像イメージ・パース3

3. 中央前橋駅



3.1 将来像：イメージ・パース

中央前橋駅は、鉄道、バスの交通結節点として、周辺のバス停の統合・集約や前橋駅と県庁方面を接続する自動運転循環バスの導入などにより移動の円滑化と利便性向上を図る。

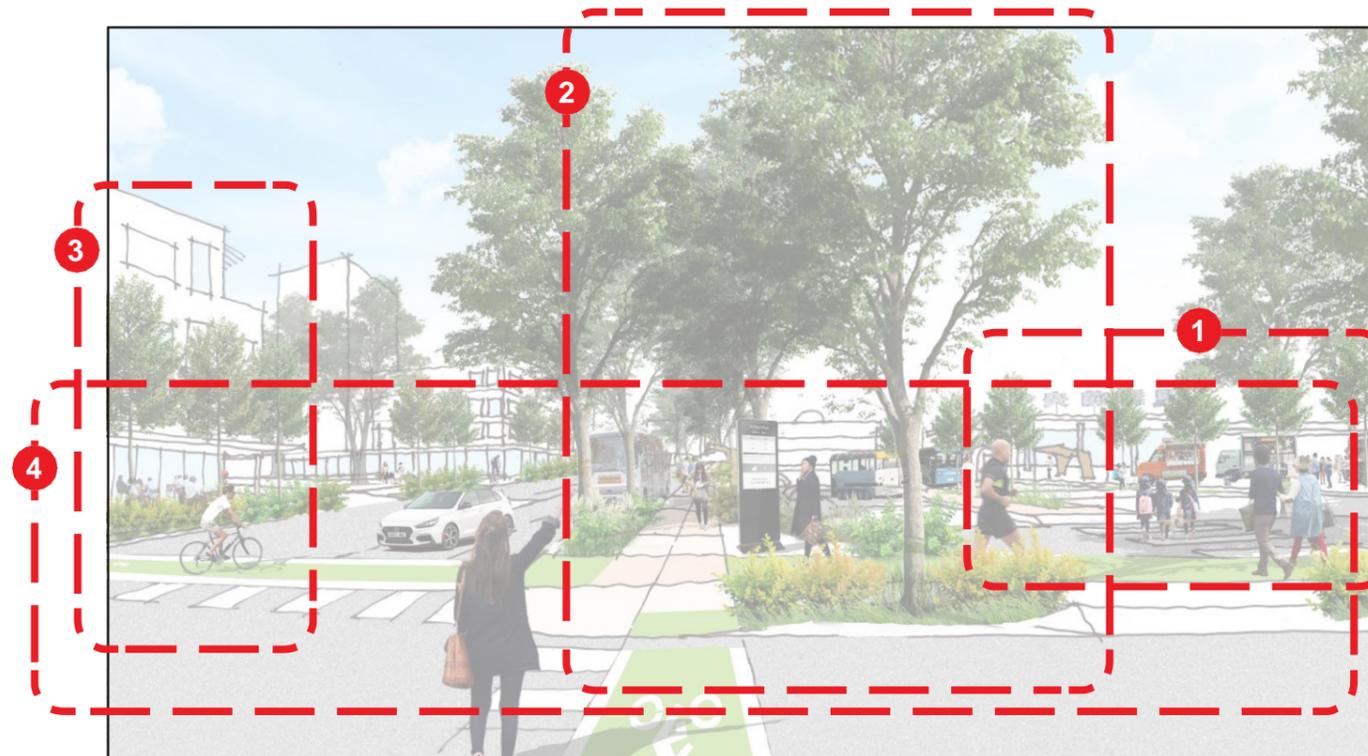
赤城山方面と市街地エリアを接続する拠点であり、中心市街地の玄関口として広瀬川へ賑わいをつなげる駅前広場と、自転車のままサイクルトレインにより赤城南麓を訪れることのできるアクセス性を生かしたグリーンループとの接続が、歩行者、自転車にとっても利用しやすい快適な環境を創出する。



現在の駅の様子

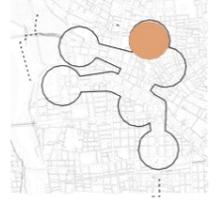
凡例

- ① 駅前広場にはキッチンカーなどが出店し、お茶やお酒を楽しめる。
- ② 雨水を利用した植栽や木々でエコロジーを推進。インフォメーションキオスクや緑がある快適で便利な駅前広場が人の往来を促進。
- ③ 地上階店舗が通りの賑わいを創出し、広瀬川の賑わいへとつながる。大きな開口部や魅力的なショーウィンドウを設け、屋内の賑わいが歩道に漏れ出る。
- ④ まちなかを一周するグリーンループの一部。歩道橋を撤去することで、グリーンループの使用を促進。



将来像
イメージ・パース

4. 広瀬川河畔



4.1 将来像：イメージ・パース



将来像イメージ・パース4

4. 広瀬川河畔



4.1 将来像：イメージ・パース

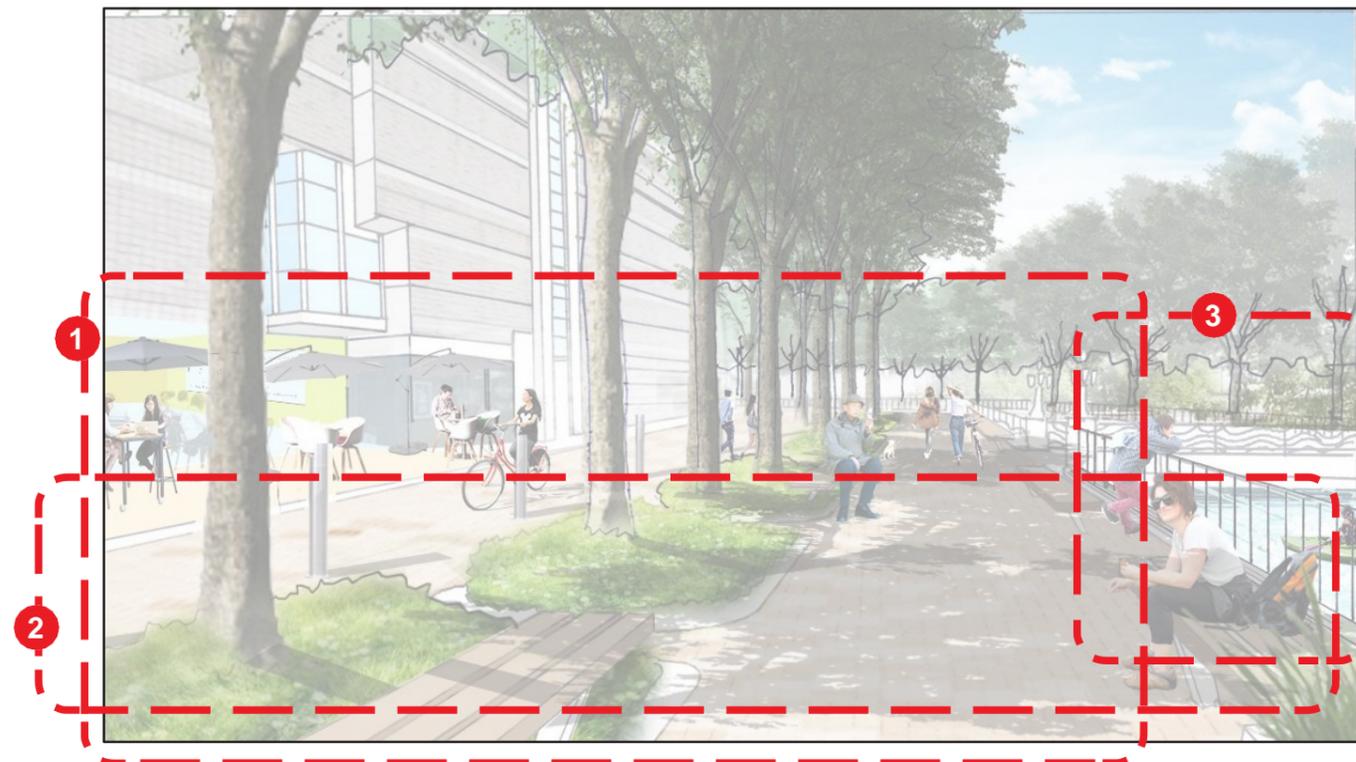
水と緑と詩のまちを象徴するエリアとして多くの市民に愛される広瀬川は、河畔緑地と周辺道路、沿道建物が一体的に活用され、個人が日常的に利用するほか、様々なイベントやコミュニティ活動の場としての利用が活発に。



現在の河畔の様子

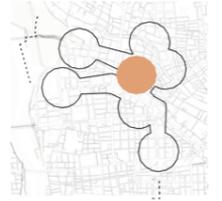
凡例

- ① ガラス面やテラスが広瀬川に向かって開かれ、連続して通りの賑わいを創出。植栽を地被類とし、テラス席から広瀬川や朔太郎橋への見通しを高める。
- ② 段差の無い車道と遊歩道は、バリアフリーな通りとして一体的な使用が可能。歩行者の安全確保のために、車道と遊歩道はボラードで仕切る。
- ③ 眺めるだけでなく、アクティブレジャーの場としての活用。



将来像
イメージ・パース

5. 銀座通り



5.1 将来像：イメージ・パース



将来像イメージ・パース5

5. 銀座通り



5.1 将来像：イメージ・パース

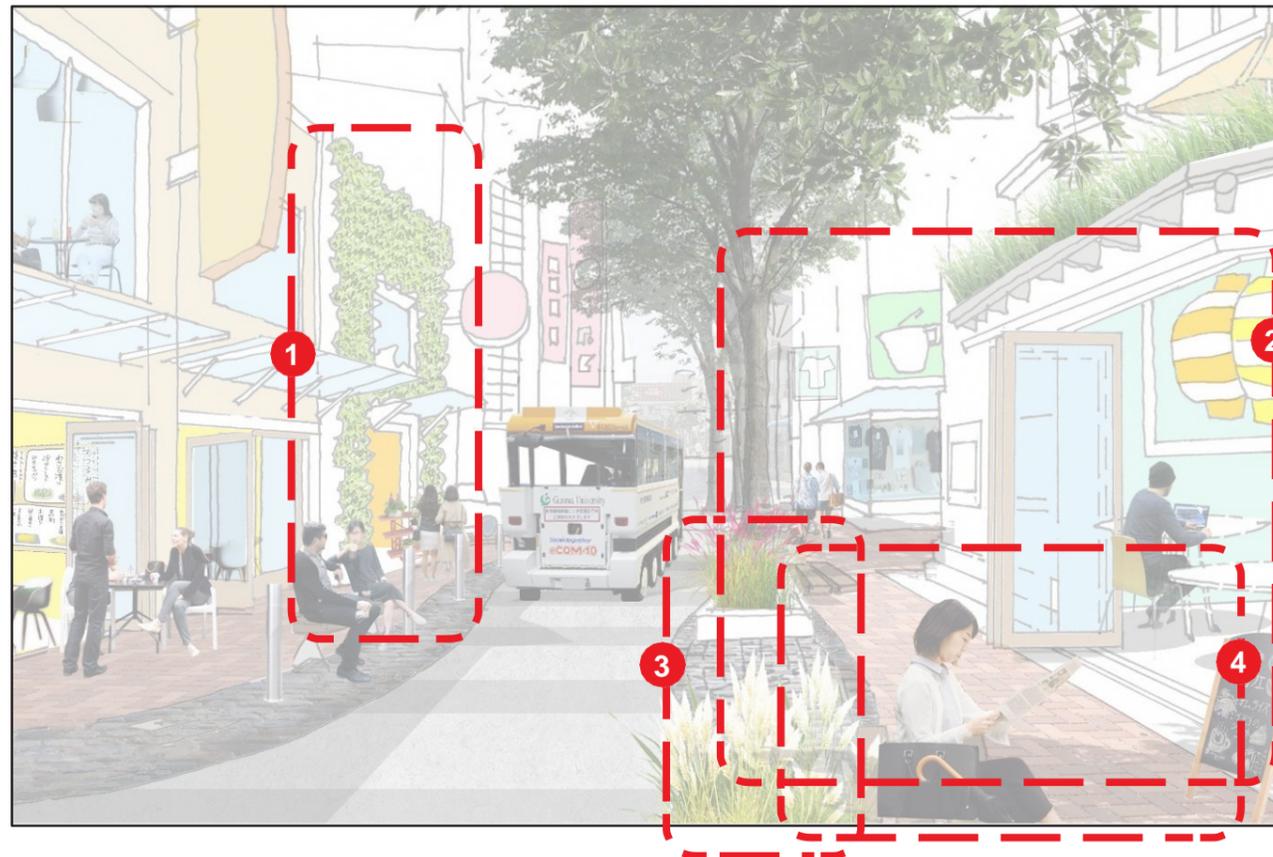
自動車の進入を規制している銀座通りは、まちなかを移動する際の主要な経路として歩行者通行量の多い通りである。沿道の空き地や建物はリノベーションにより新たな活動拠点として活用が進むとともに、植栽やベンチなどが配置されることで、通過するだけでない快適な歩行空間と滞留性を持つ賑わいのある通りとなる。



現在の通りの様子

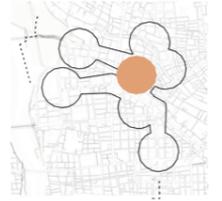
凡例

- 1 通り沿いの壁面を緑化して視覚的豊かさを創造。
- 2 地上階店舗が通りの賑わいを創出。大きな開口部や魅力的なショーウィンドウを設け、屋内の賑わいが歩道に漏れ出る。
- 3 雨水を利用した植栽でエコロジーを推進。
- 4 ベンチと植栽がある快適で安全な歩行者空間が人の往来を促進。



将来像
イメージ・パース

6. 中央通り

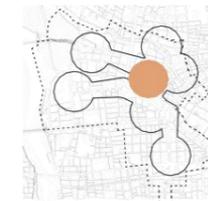


6.1 将来像：イメージ・パース



将来像イメージ・パース6

6. 中央通り



6.1 将来像：イメージ・パース

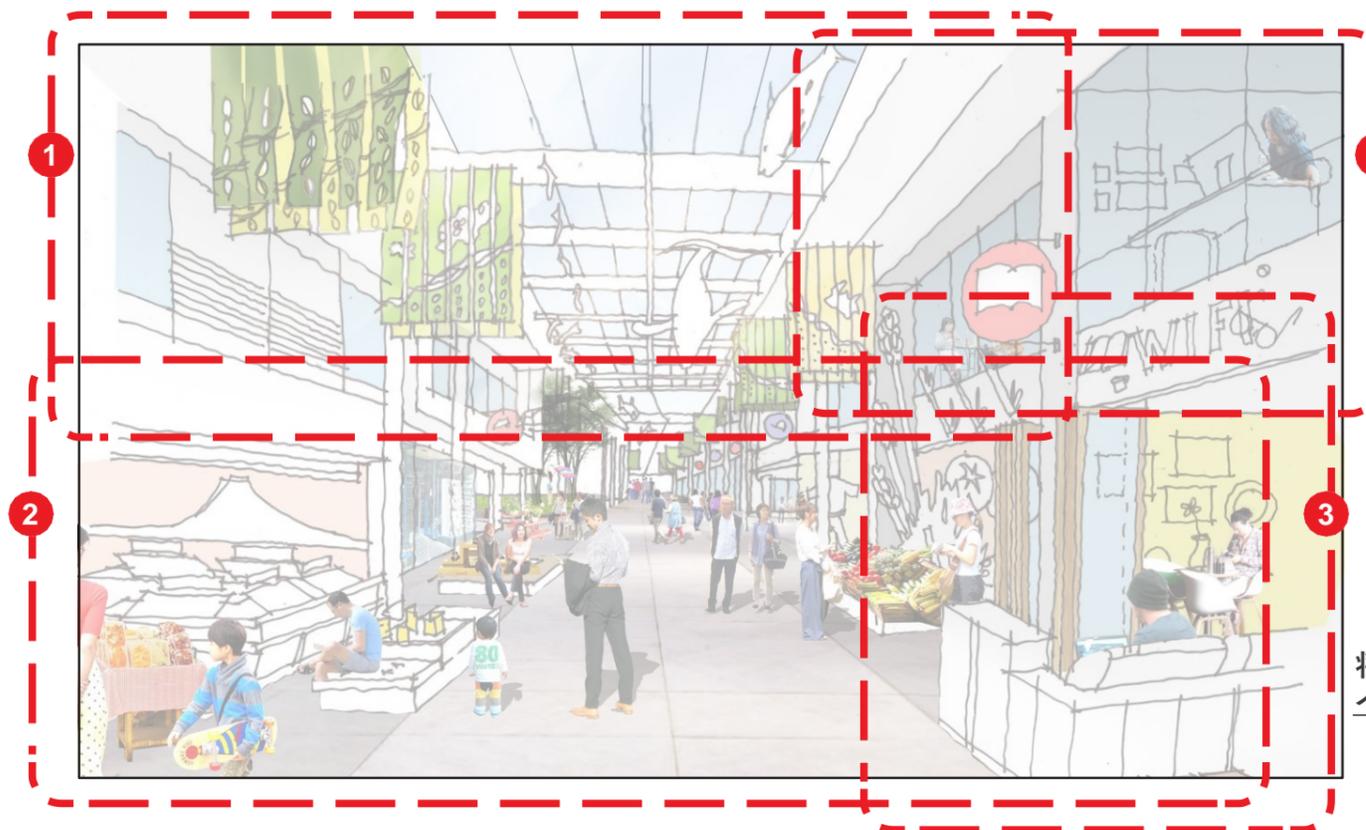
地域住民や買い物客が集う老舗や新たな店舗が軒を連ねる。店主や客同士が楽しく会話し、出会いやコミュニケーションが自然と生まれる通りで、リノベーション事業で整備したシェアハウスやサテライトキャンパス、シェアオフィスのほか、新たに設けられた様々な用途が複合的に通りに活気を与える。



現在の通りの様子

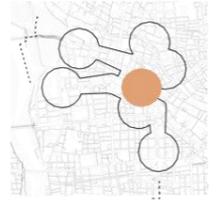
凡例

- 1 アーケード内にアートを設置して視覚的に楽しみのある通り。
- 2 自動車の通行を制限した道路空間を活用し、歩く楽しみを感じながら自転車利用者の目にも止まる店先の賑わい創出。
- 3 空き店舗をリノベーションして、地域のモノ、コト、ヒトを生かしたローカルファーストな店舗。
- 4 空き店舗の上階をリノベーションして、地域のクリエイティブな人材が集まるシェアオフィス。



将来像
イメージ・パース

7.馬場川通り



7.1 将来像:イメージ・パース



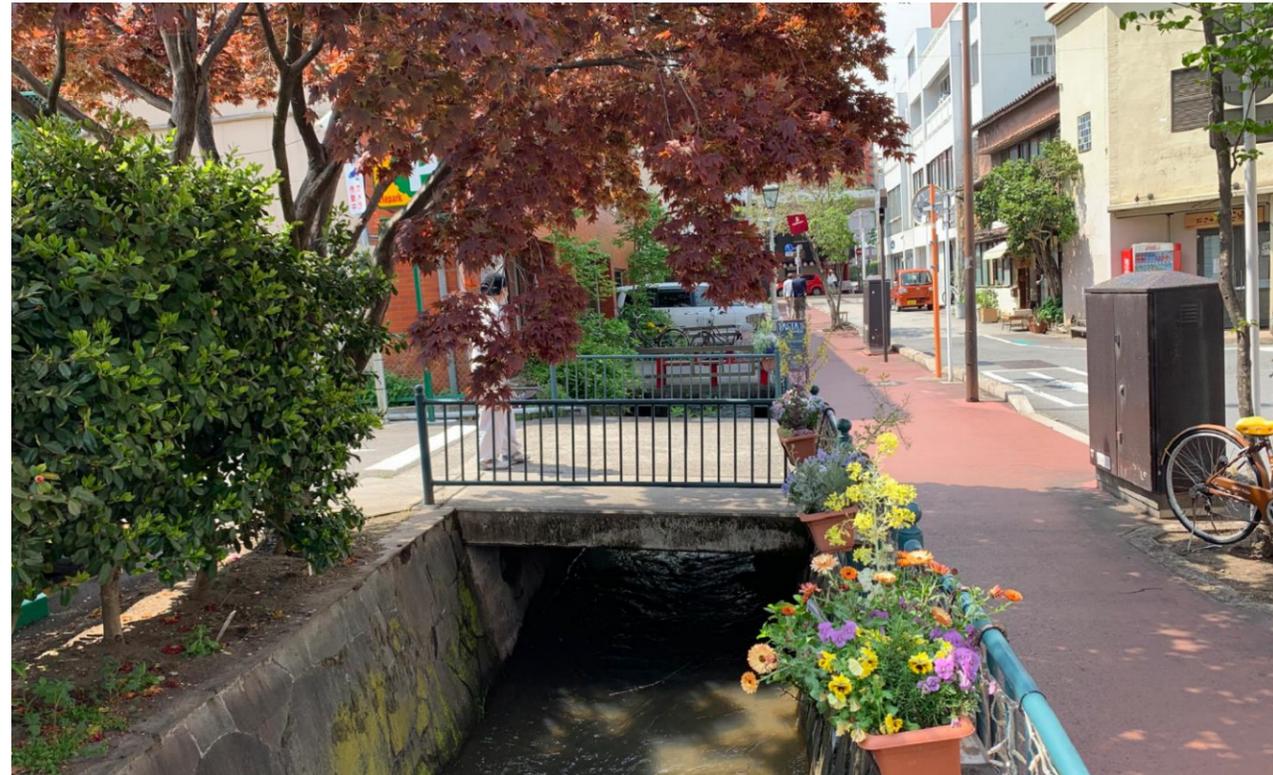
将来像イメージ・パース7

7.馬場川通り



7.1 将来像：イメージ・パース

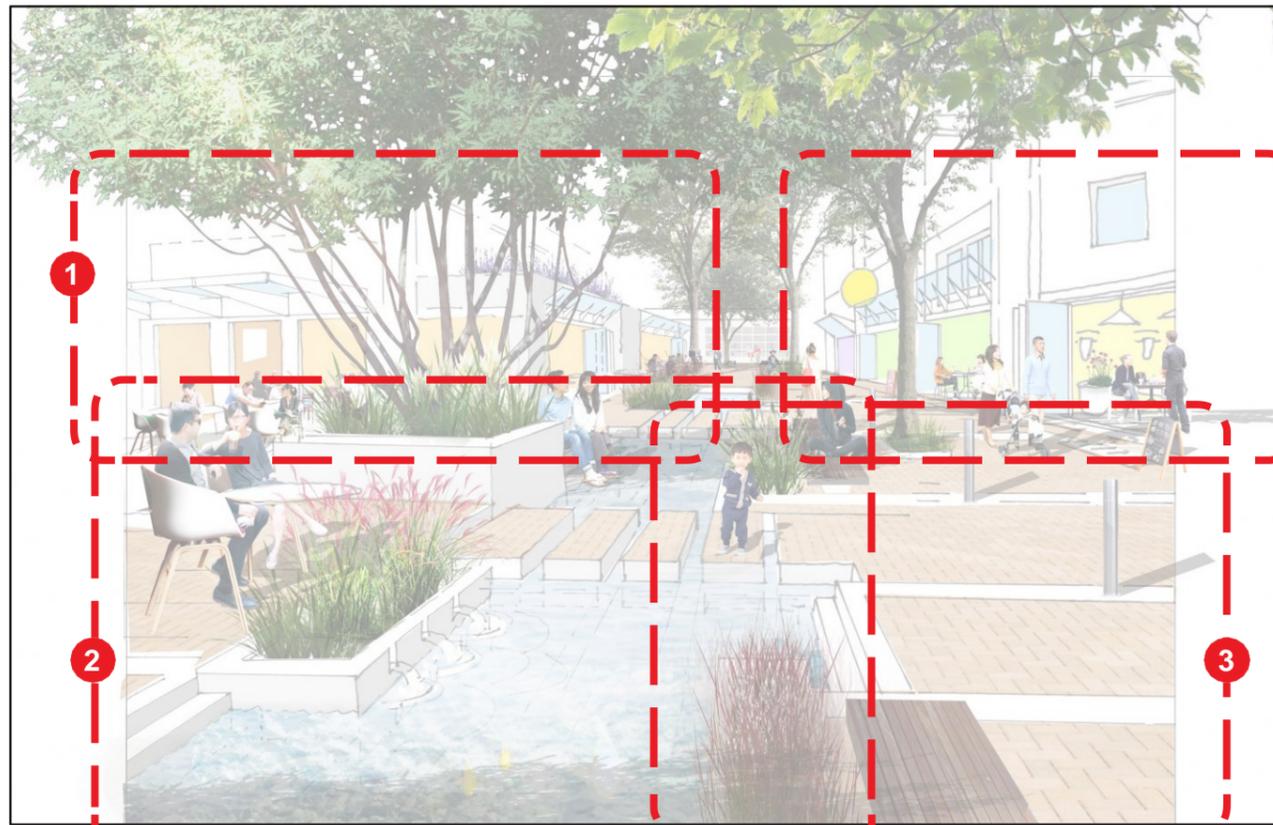
水音、水生生物の影、遊歩道公園の樹木や植物などの馬場川の流れを想起させる水のランドスケープにより水辺の自然環境を形成し、都市生活者がそこでリラックスして自然を感じられる親水空間と、快適で安全に通行できる歩行空間を備えた通り。



現在の通りの様子

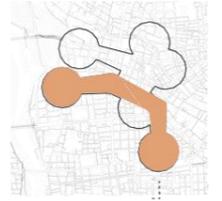
凡例

- ① ガラス面やバルコニーが馬場川に向かって開かれ、連続して通りの賑わいを創出。
- ② 水面に近づき、水と緑を感じながらリラックスできるオープンスペース。
- ③ 水のランドスケープに沿ってベンチを備え、段差の無い車道と歩道は、イベント時には通りの一体的な使用が可能。



将来像
イメージ・パース

8. 県庁前けやき並木通り



8.1 将来像：イメージ・パース



将来像イメージ・パース8

8. 県庁前けやき並木通り



8.1 将来像：イメージ・パース

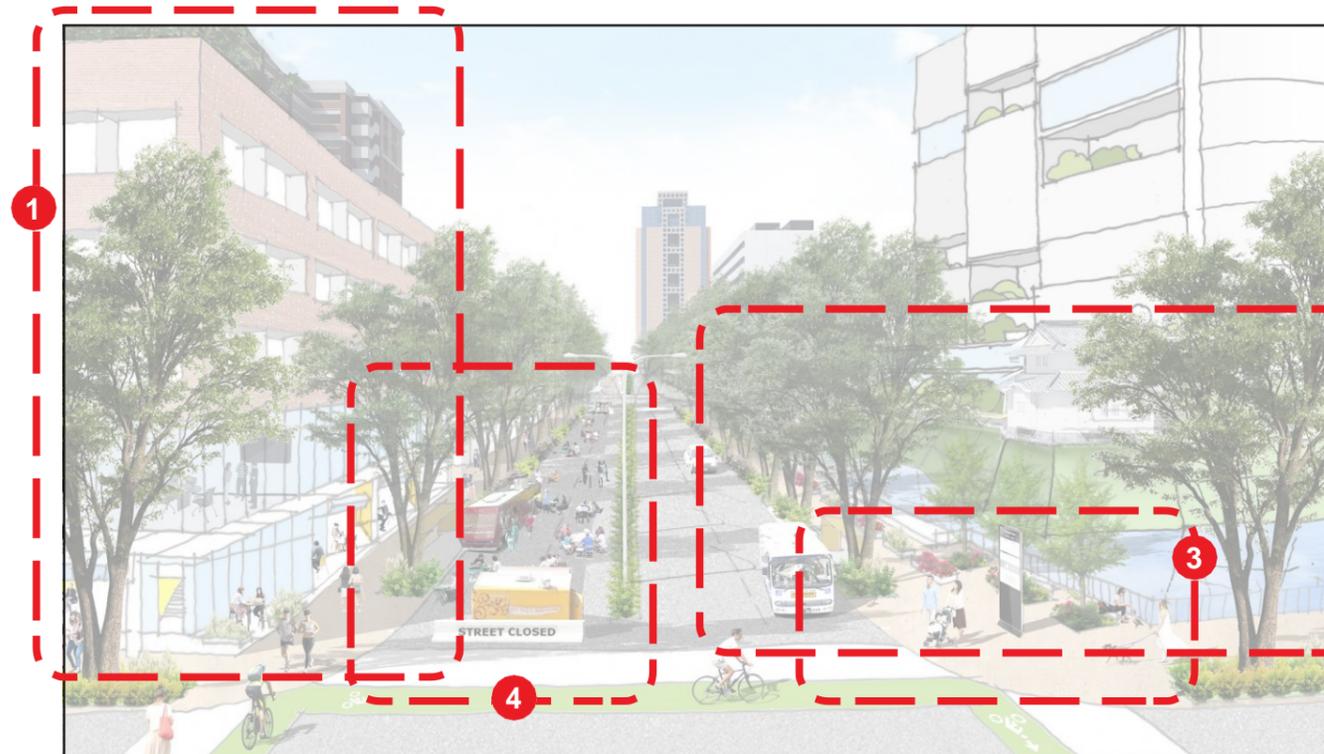
県庁前けやき並木通りは、前橋城跡の伝統と歴史を背景に公官庁舎が集積し、県都の風格が漂う通りである。十分な幅員のある歩道に沿ってセットフロントで建つミクストユースビルの1階には商業店舗などの賑わい機能が連続し、上階にはオフィスや住居などを備える。歴史的資源の活用などにより、前橋の歴史が感じられる個性的なエリアとして平日だけでなく休日も人が往来する通りを創出させ、豊かなエリアの魅力向上を図る。



現在の通りの様子

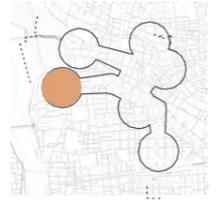
凡例

- 1 庇や大きなガラス窓を配した建物が街区の角を特長づける。また、レンガ調の外壁を使用した歴史的建造物の趣きを感じられる統一した街並を形成。
- 2 歴史資源を活用した水辺のある広場。
- 3 歩道と一体的に活用可能な水辺に面したベンチのあるスペース。
- 4 平日の昼は車道を利用したテーブル席が設けられ、周囲で働く人たちの憩いの場となる。



将来像
イメージ・パース

9.利根川河畔

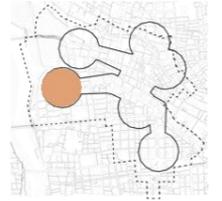


9.1 将来像：イメージ・パース



将来像イメージ・パース9

9.利根川河畔



9.1 将来像：イメージ・パース

利根川周辺は、前橋公園、臨江閣などとともに本市を代表する自然・文化的な資源に恵まれており、これらを駅や繁華街と接続させて新たな人の流れを作ること、前橋らしいまちづくりの実現を図る。

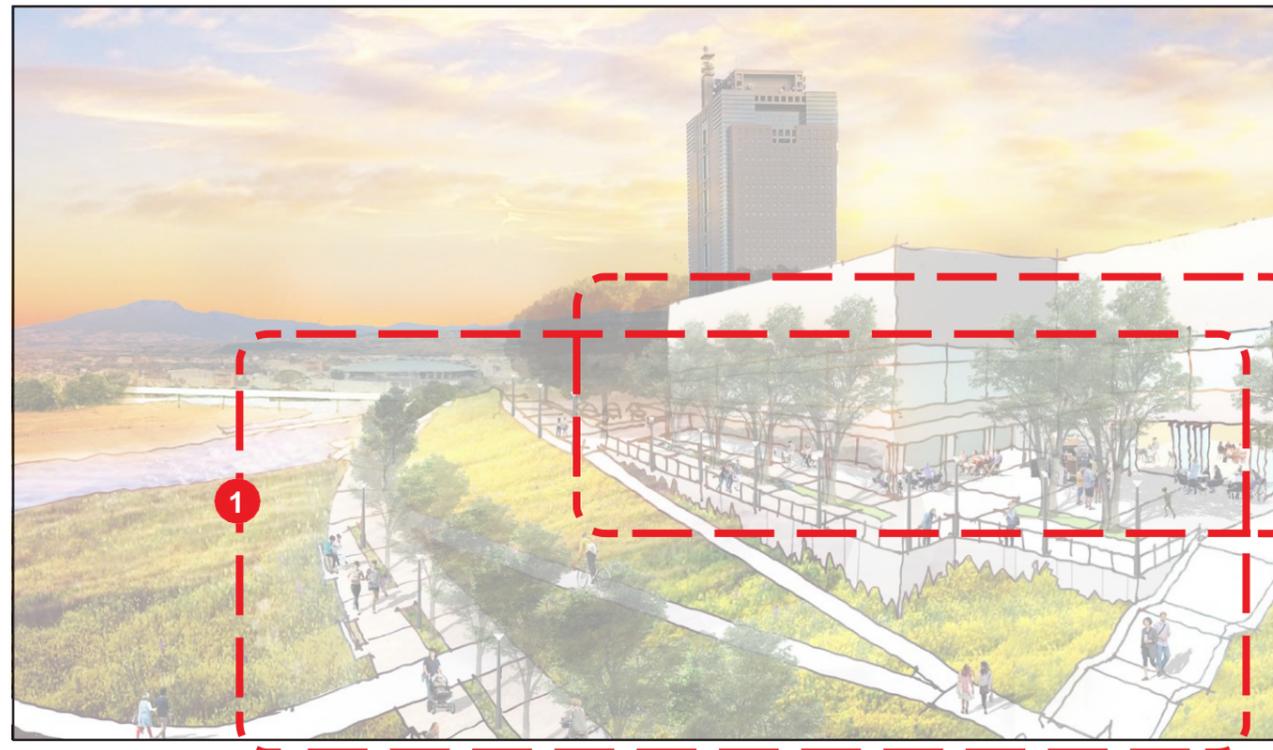
散歩やジョギング、サイクリングなどで川沿いを訪れ、豊かな自然環境によって季節を感じることができる。



現在の河畔の様子

凡例

- ① 利根川沿いをグリーンループで結ぶことで、まちの回遊性を向上させるとともに、健康的な活動を促進する。
- ② 建物地上階の賑わい機能が夕日が見える外部のテラス席に広がり、通りからの利用も促進。



将来像
イメージ・パース